

スタイルは無限 舞台は多種多様な世界

映画に携わる仕事をしたい。 一転して経済学部

古典芸能が好きだった祖母と映画好きの母の影響から表象文化を学びたいと考え、東大に進学。ところが実際に蓮實重彦先生の全学ゼミで映画について学び始めると、学問として追究していきたいのかが自信が持てなくなりました。では何がしたいのか。我が家には小さい頃から経済誌や会社四季報があり、金融マーケットに関する興味も人一倍あったので、結果、経済学部を選びました。

経験をリンクさせて

若い方からよく「秋田さんのようにステップアップするにはどうしたらいいですか?」と聞かれます。プロフィールから見える私は、上昇志向があり、戦略的にステップアップをして今があるように思わ

れがちですが、実際はライフイベントの中で思いがけない選択を余儀なくされる経験を繰り返してきました。

大学を卒業後メガバンクに就職し、その後転職。結婚と時を同じくして、夫のアメリカ留学が決まりました。当時の勤務先に休職制度はなく、留学に同行した場合、私のキャリアはどうなるのだろうかという不安がありました

が、悩んだ末に夫と同じビジネススクールに進むことを決めました。

悪戦苦闘しながらもTOEFLやGMATのスコアを上げ、働きながら出願の準備をし、自費で留学するために奨学金を獲得するなど、色々苦労しました。そこで培っ

たノウハウを、必要としている誰かに伝えたい。その思いから個人のウェブサイトを立ち上げました。ユーザーだった私がその20年後、使用ツールのITソフト企業で働くとは知る由もありませんでしたが……。

2年後にMBAを取得し帰国。仕事が波に乗っている頃、

妊娠がわかり長男を出産して復職するも、新たに夫の海外赴任が決まり退職することに。赴任先のNYで、夜間大学に通ってマーケティングを学び直すなど、自分のスキルアップ、インプット期間にしました。思いがけない岐路をどう捉えるのかは、考え次第ではないでしょうか。

ポジティブ・ 達成欲・社交性・ 戦略性・着想力

外資系金融機関に務めていた30代の頃、上司からは「あなたのリーダーシップは線が細い」とマッチョなリーダーシップを求められた時期があります。私はチームのよい部分を引き出して、一緒に成功できれば嬉しい。サポートすることに喜

びを感じるタイプです。葛藤しましたが、自分らしいスタイルはサーバントリーダーシップだと気づき、40代では肩の力を抜くようになりました。

自分を客観的に判断することは大事です。自分の強みを診断できる「ストレングスファインダー」



次世代の人にバトンを渡すような気持ちで何事にも全力で取り組んでいる。

※で自己分析をしたところ、34の資質のうち、第一は「ポジティブ」。エネルギーにあふれていて誰とでも仲良くなれる才能があり、頼りにされることを幸せに感じる資質だそうです。2つ目は「達成欲」で、身体的・心理的にスタミナが豊富であり、さらなる挑戦に向かい前進する資質。3つ目は「社交性」で、知らない人とすぐに打ち解けて相手の話を聞くことに喜びを感じ、人間が好きなのだそう。4つ目は「戦略性」で、最後は「着想（新しいアイデアを考えるのが大好き）」という結果でした。自分を形づくる要素に、なるほど納得しました。

自分の持ち味は周囲の人を元気づけ、活力を与えることだと改めて認識しました。50代は、あふれるポジティブなエネルギーを周囲のためにもっと使いたいと思っています。

好奇心に蓋をしない。 いつかチャンスに 結びつく可能性も

アドビに転職したのは40代半ば。留学時代はいちユーザーにすぎませんでしたが、20年後にお声がけいただいた時に迷いはありませんでした。いくつになっても、

どんな立場になっても、学び続ける姿勢を忘れてはいけなくと思っています。常にアンテナを広く張って、自分が少しでも興味があることには飛び込むこと、好奇心に蓋をしないことが大切です。すぐに仕事に直結しないとしても、時を経て、点と点が結びつき、

思いがけないチャンスをもたらすかもしれないからです。

今春、みずほFGに入社して3カ月が経ちました。私同様、経験豊富な人材が社外からも多く登用されています。それぞれの知見を持ち寄って、仲間たちと意見交換し、〈みずほ〉の変革やめざすべき将来像などについて、多様な視点から日々議論しています。

入社前は、外部から加わることに若干の不安もあり、受け入れてもらえるだろうかと思いましたが、そんな心配は杞憂に終わりました。実際に入社してトップから現場のメンバーに至るまで共通して感じるのは、改革への強烈なパッションです。支店をはじめ現場に足繁く通って対話を繰り返し、多様なコミュニケーションを通じて、〈みずほ〉の仲間たちと変革に取り組む毎日に、大いにやり甲斐を感じています。

Profile

みずほフィナンシャルグループ執行役員 人事グループ副グループ長。1994年経済学部卒業。米ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院でMBAを取得。HSBC、マスターカード等を経て、17年ITソフトのアドビシステムズ入社。18年副社長就任。22年5月より現職。18歳を筆頭に、9歳、6歳と3人のお子さんがいる。